

ベジフル SAGA (2024 年 8 月号) ～ブドウ栽培管理～

今月は、トンネル・露地ブドウの収穫・出荷が本格的に始まります。自家選別を徹底し、枝梗枯れ・脱粒等には十分注意してください。収穫後も、積極的に園地へ足を運び次年度生産に向けた管理を行いましょ。う。

また、気温も高くなり、熱中症等のリスクも高まります。自身の体調には十分注意し、こまめな水分補給を心がけてください。

【ハウスブドウ】

●収穫後の対応

収穫は今年度の果実生産のゴールと同時に、次年度に向けてのスタートとなります。次年度の貯蔵養分確保のために、収穫後も葉数を確保し枝の充実を図りましょ。う。収穫後は樹勢回復のため十分なかん水を行い、早期落葉を防止するためにべと病や褐斑病等の防除を行ってください。安定した果実生産のために、収穫後も継続して管理を行いましょ。う。

○かん水

収穫後の土壌の過乾燥は、肥料の効きが遅れ、樹勢回復や養分貯蔵に悪影響を及ぼします。1 週間以上降雨がなく土壌が乾燥している場合は、かん水を行います。こまめなかん水が難しい場合や乾燥しやすい園は、敷きワラ等で土壌の乾燥を抑制ましょ。う。

○礼肥

収穫が終了した樹は、樹体が栄養不足となり根の活動も停止します。樹勢の維持・回復を図るため、礼肥を行います。収穫直後から 9 月中旬までに 2~3 回に分けて施用してください。樹勢が強く遅伸びしている樹は、樹勢に合わせて施肥量を抑えてください。苦土欠乏症対策としては、硫マグを 10a 当たり 10~20 kg 施用します。施用後はかん水を行い、根域への浸透を図り吸収を促進ましょ。う。

○土づくり

土づくりは、発根前に行うことでより効果が期待されます。遅れないように実施してください。(～9 月上旬)

傾斜園や畝立て園では客土(ピートモス等土壌改良剤混入)により根の保護を行い、平植え園では完熟堆肥のスポット施用(2t/10a)で新根発生の促進を図ってください。

○新梢管理

養分貯蔵のためには、遅伸びをさせず、健全な葉を維持することが重要です。収穫後も伸長を続けている新梢や、棚面を暗くしている長大な新梢は種枝として充実不足になるため、1.5~2m 程度残して摘心するか、先端を棚下へおろして伸長を抑えてください。不要な新梢は枝抜きを行い受光態勢を改善します。副梢も 2~3 枚程度残して摘心を行ってください。

○病害虫防除

〈収穫後〉

・IC ボルドー66D (50 倍) + アビオン E (1000 倍)

【トンネル・露地】

○収穫・出荷

収穫前は、確実に糖酸分析を行い、収穫適期判断の目安にしてください。収穫は鮮度を保持するために果実温度が低い早朝に行い、収穫した果実については直射日光を避け、果実温度が上がらないように管理しましょう。

出荷作業（パック・箱詰め）は、涼しい場所（クーラーなどの効いた部屋）で行い、果粉が取れないよう丁寧に扱い、脱粒や枝梗枯れの混入に気を付けてください。

シャインマスカットについては、黄緑色系品種のため、着色のみでは収穫時期の判断が難しい品種です。そのため、専用のカラーチャートを用いるとともに、糖酸分析を行い、糖度 18 度に達したものから収穫を行い、品質第一の出荷を心がけてください。

○収穫後の管理

収穫後は、ハウスと同様に礼肥を行います。2～3 回の分施とし、収穫直後から 9 月中旬までに施用してください。施用後はかん水を行い、根域への浸透を図り吸収を促進させましょう。

○病害虫防除

〈収穫後〉

・IC ボルドー66D (50 倍) + アビオン E (1000 倍)

+ スミチオン水和 40 (1000 倍)

※使用する薬剤は地区によって異なる場合がありますので、詳しくは最寄りの JA や農業振興センターへご相談ください。また、散布前に登録内容や注意事項をご確認ください。